

<<米国 FDA による リコール情報（2026 年 4 月分）>>

2026 年 4 月に米国食品医薬品局（FDA）により発出された、食品、飲料、栄養補助食品のリコール情報は 14 件であり、その内訳は以下の通り。

リコール理由	件数
アレルギー表示漏れ	7 件
有害病原菌の検出（サルモネラ 1 件、ボツリヌス 2 件、E.Coli 1 件）	4 件
医薬品原材料を含む食品または栄養補助食品	2 件
原材料表示漏れ（アレルギー物質、亜硝酸塩、および着色料）	(1 件) (アレルギー表示漏れと重複計上)
ビタミン D 含有量のばらつき	1 件

これらの 14 件のリコール情報のうち、ラベル表示におけるアレルギーの記載がなかったものが 7 件、有害病原菌汚染（サルモネラ菌、ボツリヌス菌、E.Coli）によるものが 4 件、であり、これら 2 つがリコール理由の 8 割弱を占めた。「企業名（Company Name）」をもとに確認したところ、日本企業や日系企業にかかるとみられるリコール案件は確認されなかった。

<有害病原菌の検出>

ボツリヌス菌、カンピロバクター、O157:H7 およびその他の腸管出血性大腸菌、リステリア菌、サルモネラ菌やマイコトキシン等の有害細菌が食品に含まれると、広範囲かつ重篤な食中毒の原因となる可能性がある。

今回、ボツリヌス菌 2 件のうち 1 製品は、皮むきにんにくで、店舗での抜き打ち検査において、当該製品が食品安全上のリスクを適切に管理できる温度環境下に置かれていないことが確認されて発覚した。もう 1 つの製品は、ハーブを含む液体であり、コーネル大学による分析、およびニューヨークの食品検査官による現地検査を通じて特定された。このように、店舗での抜き打ち検査による問題発覚によりリコールに繋がるケースが多く存在している。

ボツリヌス菌症は、神経系に影響を及ぼす可能性のある、まれではあるが深刻な病気で、症状には、全身の倦怠感、めまい、複視（物が二重に見える）、発話困難または嚥下困難、そして重症の場合は呼吸困難や筋力低下などがある。

<医薬品原材料を含む栄養補助食品>

今月、この理由によりリコールされた食品または栄養補助食品は2種類である。1種類目はチョコレートで、医薬品原材料であるシルデナフィル（バイアグラ）とタダラフィルを含んでいる。2種類目は体重増加および食欲増進を目的とした栄養補助食品で、処方箋医薬品であるシプロヘプタジンを含む複数の医薬品原材料を含んでいる。栄養補助食品は医薬品ではなく、あくまで食品のカテゴリーであるため、医薬品原材料を含む製品を食品や栄養補助食品として販売することはできない。

<ビタミンD含有量のばらつき>

今月、この理由によりリコールされた製品は犬用の代用乳であり、ビタミンDの含有量が不均一で、一部製品において基準値を下回るものや、逆に過剰に含まれるものが確認されたことから、リコールとなった。

ビタミンDを過剰に摂取した犬は、嘔吐、食欲不振、喉の渇き、排尿量の増加、過度のよだれ、体重減少などの症状を示す可能性があり、極めて多量のビタミンDを摂取した場合、腎機能障害を含む深刻な健康被害を引き起こす可能性がある。

出所：[リコール、市場からの撤退、および安全に関する警告](#)（英語）

【免責条項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。米国輸出支援プラットフォームでは、できる限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、米国輸出支援プラットフォームおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

本レポートに関する問い合わせ先：
米国輸出支援プラットフォーム（ジェットロロサンゼルス事務所）
TEL：1-213-624-8855
Email：lag-USPF@jetro.go.jp

Eureka Global Solutions 作成